



カテゴリ: サステナビリティ

2022年10月4日
第 22043号

JAL、山口宇部空港で初めて 燃料電池(FC)フォークリフトの試験運用実証を開始

JALは、CO2排出削減への取り組みの一環として、山口県が実施している「燃料電池フォークリフト(以下、FCフォークリフト)」の試験運用の実証に協力します。山口宇部空港内で、航空貨物の運送用コンテナの積み込みや移動に「水素」を燃料とした「FCフォークリフト」を使用する試験運用を、2022年10月6日より期間限定で実施します。



FCフォークリフト



カードル(水素充填容器)



バルステーションmini(充填機)

山口県では、脱炭素社会の対応に向けて、FCフォークリフトの普及拡大を促進するため、水素ステーションに隣接していない事業所等において、カードルと簡易水素充填機の使用によるFCフォークリフトの試験運用実証を通じて、データの収集や導入への課題抽出、解決策の検討を行っております。

JALは、地域への貢献、ESG戦略の観点からこの取り組みに賛同し、新たな環境での「FCフォークリフト」による試験運用実証として、山口宇部空港における実施に協力します。

JALは、今後も空港内車両のCO2排出量削減に向けた取り組みを推進し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

【概要】

- 期間 : 2022年10月6日(木)～10月31日(月)(予定)
- 場所 : 山口宇部空港内 日本航空の貨物エリア
- 実験車両: トヨタFCフォークリフト(トヨタL&F山口)
- 使用機器: FC産業車両用簡易充填機 バルステーションmini [株鈴木商館]